

…… みんなが寄り添える場所 ……
あた☆DECO食堂

豊中市で家事サポートやケアプラン作成、一時保育などの生活支援事業に取り組む『あたすファミリー』と、蛍池の飲食店『デコボコファーム・キッチン』が開催する共食イベント「あた☆DECO 食堂」。

提供するのは“笑食”。様々な世代が集う食卓には、温もりと笑顔が溢れていた。



「あた☆DECO 食堂」の小さな常連さん。宮出さんをはじめ、色んな人に抱っこされ、キュートな笑顔で皆の心を和ませた。ママは近くでお食事中♪



メニューは「おにぎり（炊き込みご飯or雑穀米）、みそ汁、副菜、漬物」で540円。準備や配膳は下田さんや宮出さん（右写真）、『あたすファミリー』のスタッフや利用者がボランティアとして行う



3の日の献立♪



は事務所内で宅配弁当と一緒に食べる「あたす食堂」を開催。「みんなで食べるのって楽しいね、美味しいね」と好評だったとか。その後、「孤食をなくしたい」という下田さんの思いを知った『デコヘアサロン』代表の宮出信代さんが「お店の定休日に、ここを使って」と、ご主人が営む『デコボコファーム・キッチン』での開催を提案、下田さんの思いを後押しした。こうして毎月第3月曜（祝日の場合は第1月曜）、の11時半から13時半まで、同店で行われる「あた☆DECO 食堂」が誕生した。

**世代を超えた交流が生む
人が人を癒す瞬間**

「あた☆DECO 食堂」開催日。メニューは「おにぎり、みそ汁、副菜、漬物」で540円。別料金でオリジナルのドリンクやサーターアングラーも楽しめる。食堂

は「あたすファミリー」の利用者やその家族、知人、噂を聞きつけた一般の方まで、様々な人で賑わう。「あたすファミリー」に子どもを預けて、ランチを楽しむママ達の姿も。また、普段は介護を必要とする方も、この日はスタッフとして調理を手伝う。以前、喫茶店を営んでいた男性は、認知症を患ってからは包丁を握ることも無かったそう。しかしここでは、キュウリを刻んだり、調理に参加して、不思議と昔のよさな包丁さばきを見せるのだとか。その姿に、家族の方も顔をほころばせていた。下田さんに食堂の開催で印象に残って



『あたすファミリー』の一時保育は「30分単位でのチケット制で利用しやすい」と好評。保育ルームでの一時預かり、ベビーシッターや子どもの送迎等、ニーズに合わせて幅広く対応。写真右から、スタッフの宮脇心さん、保育士の太田かおりさん

いる出来事を探ねた。「要介護の方がいらして。来る時は表情がすごく硬かったのに、ここで子どもの手を握ったり、話したり。家族以外の人と触れ合う中で、表情が柔らかくなっていくんですね。人が人を癒すというか。そこに意図的な声かけがなくても自然と癒されていく瞬間を見ると、開催して良かったと思います」。その一言ひと言が心に響いた。

**温かいご飯と一緒に食べて
誰もが気軽に過ごせる場所**

阪急「蛍池駅」からほど近い住宅街の一角。緑で彩られた外観の『デコヘアサロン』、そして『デコボコファーム・キッチン』、併設された2つの店舗へと繋がる木の扉を開くと、スタッフやお客さんが笑顔で迎えてくれた。この日、同店では540円で温かいご飯が食べられる「あた☆DECO 食堂」を開催。お子さん連れからお年寄りまで、様々な世代が集い、一緒に食べて、おしゃべりして、楽しいランチタイムを過ごしていた。

発案は家事サポートやケアプラン作成、子どもの一時保育などを行う「あたすファミリー」代表の下田ひとみさん。「あたす」とは、下田さんの故郷、沖縄県宮古島の言葉で「大切な、かけがえのない」という意味。「育児も家事も介護も、一人で抱えてしまわないように、家族の一員となってサポートしたい」との思いで、2年前に「ごよなか起業・チャレンジセンター」内で支援事業を立ち上げた。「事業の利用者の中に二人暮らしでいつもご飯は一人、という方がいて。誰かと一緒に食べる時間を作りたい。子育て中の方からの『ゆっくり食事がしたい』という声にも応えたくて」。「あた☆DECO 食堂」のきっかけをこう話す下田さん。まず

“家族のサポート”を目指して日々取り組んでいます。



あたすファミリー 代表 下田ひとみさん

**家族のように寄り添う
地域の溜まり場になれば**

「あた☆DECO 食堂」をどんな場所にしたかを探ねてみた。「あた☆DECO」に行けば誰かおるなど、おしゃべりしてストレス発散して、地域のおじいちゃんおばあちゃん子どもに説教したり。田舎の島にあるような、自然と人が集まる場所にした」と宮出さんは愛情深く語る。下田さんは「デイサービス以外で、高齢の方が安心して出かけられる場所って少ないのですが、ここは誰が来てもいい。要介護であっても、皆がサポートしてくれます。『あたすファミリー』と同様に地域の方が息づける場所。いい意味で、溜まり場のような存在になれたら」と。お二人の言葉の通り、この日も小さい子がいろいろな人に抱っこされ、遊んでもらい、ママはゆっくりと食事をして……と、皆が家族のように寄り添う、和やかな時間が流れていた。

今回は9月5日、『デコボコファーム・キッチン』が改装中のため、近くの『デコボコバル』にて開催予定。まだ芽吹いたばかりだが、こんな温かい場所がもっと広がればと、願ってやまない。

取材協力

あたすファミリー
住所：豊中市蛍池西町1-20-13
電話：06-6852-7844(ケアプランセンター)
06-6852-8870(サポートセンター&あたらすキッズ)
HP: <http://www.atafami.com>

開催場所

デコボコファーム・キッチン
住所：豊中市蛍池中町3-6-18
電話：06-6852-8826
HP: <http://decobocofarm.com>
次回9月5日(月)は改装中のため『デコボコバル』にて開催
住所：豊中市蛍池中町3-8-14